

# 名張市エコツーリズム推進全体構想の概要 1/2

エコツーリズムとは、地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につながっていくことを目指していく仕組みです(出典:環境省自然環境局HP「エコツーリズム」)。

観光客に地域の資源を伝えることによって、地域の住民も資源の価値を再認識し、地域の観光の独自性が高まり、地域社会そのものが活性化されていく考え方がエコツーリズムです。

## エコツーリズム推進法の枠組み

基本理念に基づきエコツーリズムの推進に関する基本的な方針を定める(政府)(法第4条)

### エコツーリズム推進に取り組む地域(市町村)

エコツーリズム推進協議会を組織(法第5条第1項)

- ・基本方針に則して、エコツーリズム推進全体構想を作成。
- ・エコツーリズムの推進に係る連絡調整などの事務を行う(法第5条第2項)

- ・全体構想を作成したときは、遅滞なく公表するとともに、主務大臣に報告(法第5条第4項)
- ・全体構想を作成したときは、主務大臣の認定を申請することができる(法第6条第1項)他

- ・全体構想認定(法第6条第2項)
- ・技術的助言(法第13条)
- ・情報収集結果の提供(法第14条)他

主務大臣(環境大臣、国土交通大臣、文部科学大臣、農林水産大臣)(法第18条第1項)

### 【全体構想認定基準】(法第6条第2項)

- ・基本方針に適合するものであること。
- ・自然観光資源の保護及び育成のために講ずる措置その他の全体構想に定める事項が確実かつ効果的に実施されると見込まれるものであること。

## 関連計画での市における位置づけ

「名張市総合計画 理想郷プラン(後期基本計画)(平成22年3月策定)」における位置づけ

### 観光施策の基本方針

- ◆赤目四十八滝、青蓮寺湖、香落溪を観光拠点として位置づけ、自然環境の保全・活用を進めます。また、名張地区の歴史・文化資源をはじめとする新たな観光素材や資源を発掘、創造するとともに、多様な観光資源の連携を強化することにより、観光客のニーズに添った多彩なメニューを整備し、市域全体を魅力ある楽しい観光のまちとして集客の促進を図ります。
- ◆来訪者を温かく迎え、豊かな交流が広がるもてなしの心(ホスピタリティ)の向上に取り組むとともに、利便性の向上や受け入れ体制の整備、マスメディアや旅行会社との連携による効果的な情報発信など、集客交流のための機能を整備して、新しい都市観光を創出します。
- ◆市内の観光拠点と伊賀圏域、東大和西三重地域との広域観光ネットワークを活用し、一体的な観光客誘致戦略のもと積極的な情報発信を行い、広がりのある広域的観光ゾーンの形成を目指します。

### 観光施策の展開方針

滞在型・体験型など多彩な観光メニューの開発とともに、異業種と連携した観光産業やエコツーリズム等、観光の新しい展開の創出

「名張市産業振興ビジョン(平成21年3月策定)」における位置づけ

- ◆エコツーリズム推進プランを、本ビジョンの象徴的な取組として、今後の産業振興の牽引車としての役割が期待される「リーディング・プラン」の筆頭に位置づけています。
- ◆エコツーリズム推進プランでは、先進的な取組を行っている赤目地区を中心に、青蓮寺地区や国津地区など市南部を中心に、様々なメニューの創出に努め、芽吹いたエコツーリズムの流れの充実を図ります。

踏まえる

踏まえる

## 名張市における観光振興の基本方針

名張市としては、名張の自然や万葉の時代から始まる歴史・文化、地域の資源を活かした取組、話題性のある情報発信などを通じ、「観光振興」に関する総合的な取組を、「名張市産業振興ビジョン(平成21年3月)」との整合を図り、次の基本方針に基づき進めます。

### 名張市における観光振興の基本方針

- ①自然観光資源の保全
  - ◆観光振興への取組を通じた自然観光資源の保全
- ②地域資源の活用
  - ◆地域資源の付加価値を高めるしくみづくり
  - ◆新たな交流の創出
  - ◆観光商品等の開発
- ③観光振興のための基盤づくり
  - ◆誰もが観光しやすい環境づくり
- ④協働と連携による観光振興
  - ◆地域の再認識と「おもてなし」の心の醸成
  - ◆観光の担い手・地域づくり
  - ◆自然観光資源特性を活かしたエコツアーの推進

## エコツーリズム推進により目指す地域の姿

前述したエコツーリズム推進の目的に基づき、名張市エコツーリズムの推進によって目指す地域の姿を次のとおり定めます。

### ○「おおきに」地域の宝で広げる笑顔の輪○

「おおきに」地域で広げる笑顔の輪の実現に向け、次の3つの基本方針に基づいて、本市の自然環境や地域文化などの資源を掘り起こし、これらの資源を活かした体験型観光づくりを創出することにより、新たな地域産業の創出を同時に進めていきます。



### 現状

- ・観光入込客数の減少 → 新たな観光ニーズへの対応の遅れ
- ・第1次産業就業者数の減少、第3次産業就業者数の増加他

### 問題点

- ・新たな観光ニーズへの対応の遅れ
- ・本市の自然観光資源を守り育む環境が厳しくなる他

### 問題への対応

- ・H19年度から、赤目四十八滝溪谷でエコツーリズムへの取り組み研究開始
- ・H19年度から、赤目四十八滝溪谷保勝会でエコツアーを先導的に実施他

### 課題

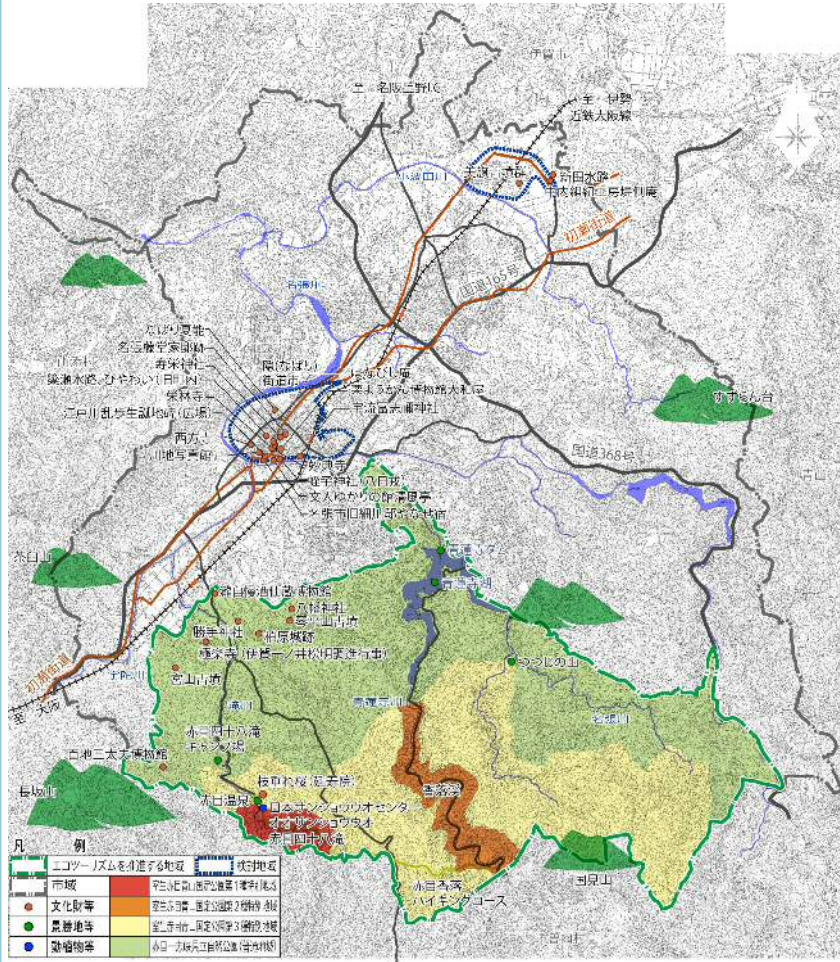
- ・市として、観光振興策の柱として、エコツーリズム推進の取組の必要性
- ・各地域特性を最大限に活用した様々なメニューの創出の必要性
- 自然環境の保全と地域文化の継承につながるエコツアーが必要
- 近年の観光ニーズに対応したエコツアーが必要
- 地域と一体となったエコツアーが必要



エコツーリズムを推進する地域

観光施設等の延べ入込客数の9割以上が集中し、多くの豊かな自然観光資源を含む、「室生赤目青山国定公園」及び「赤目一志峡県立自然公園」の区域を、エコツーリズムを推進する地域に設定します。

また、地域間の交流を促す観点から、名張川や小波田川沿いの初瀬街道を中心に発展した、名張市既成市街地や美旗古墳群周辺地域を、検討地域として位置づけます。



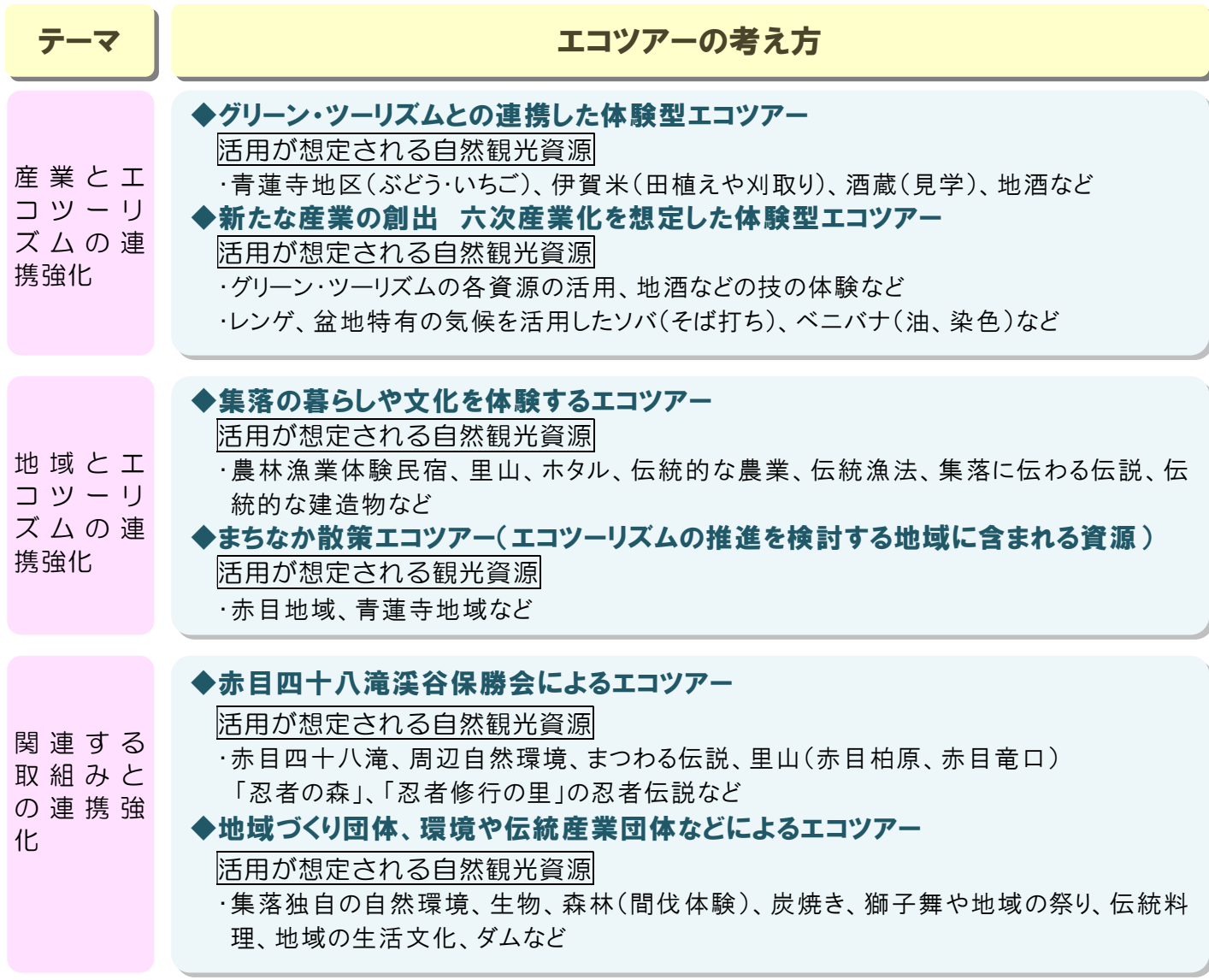
エコツーリズムを推進する地域における主な自然観光資源を次の区分により整理しプロットすると上図のとおりです。

自然観光資源の区分と対象

区分(法第2条第1項)	対象
自然観光資源	動植物の生息地又は生育地その他の自然環境に係る観光資源
自然環境と密接な関連を有する風俗習慣その他の伝統的な生活文化に係る観光資源	動植物 動植物の生息地又は生育地 その他の自然環境に係る観光資源 地形・地質 自然景観 風俗習慣 伝統文化 その他伝統的な生活文化 歴史的資源 文化的景観

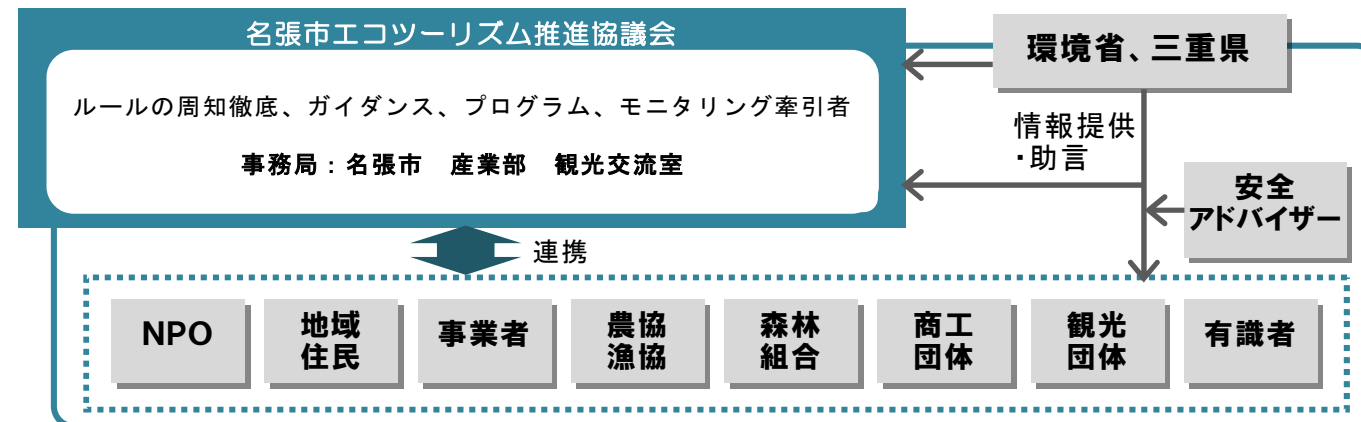
エコツーリズムの実施の方法

3つのテーマに即した、本市のエコツアーの考え方にに基づき、エコツーリズムを今後推進していきます。エコツアーとは、観光客が自然環境の保護に配慮しながら地域の自然観光資源とふれあい、エコツアー実施者(ガイドなど)から案内などを受けて学び、地域の自然や文化などについて知るものです。



エコツーリズムの推進体制

推進協議会に参加する者の名称等は次のとおりです。



エコツーリズムの着実な推進方針

エコツーリズムの推進に向け、想定されるスケジュールは次のとおりです。

